

竜丘・下殿岡処理区 個別統廃合計画 について

上下水道局 下水道課

1 計画諸元

(1) 全体計画区域 (長期的に市街化を見込み、計画において考慮する区域)

- ◆農集排組合員敷地 + 宅地、雑種地等 (農集排組合未加入) + 白地農地
- ・計画面積 A = 47 ha ・計画汚水量(日最大) 485 m³/日

(2) 事業計画区域 (下水道法に基づき事業計画を定め、認可決定を受け事業を実施する区域)

- ◆農集排組合員敷地
- ・計画面積 A = 27 ha ・計画汚水量(日最大) 355 m³/日

2 接続計画・概算工事費

◆接続経路「念通寺北の峠」ルート

- ・接続管 L = 1,030m C = 143,020 千円 (マンホールポンプ 4 基)
- ・増補管 L = 589m C = 64,740 千円
- ・処理場機器類撤去 1 式 C = 30,000 千円 総額 237,760 千円

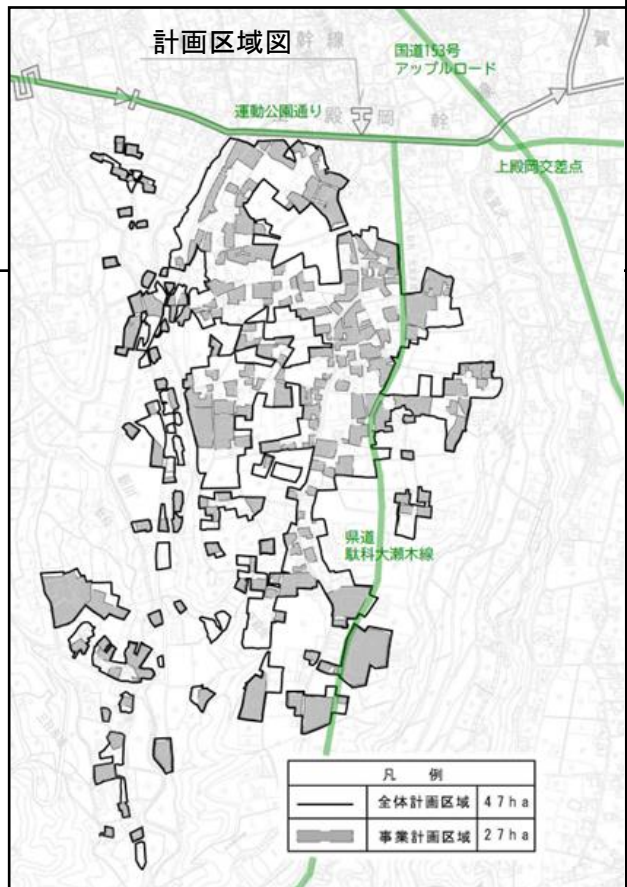
3 スケジュール (案)

- R 5 法手続き (財産処分報告、都市計画の変更、下水道事業計画変更)
基本設計
- R 6 実施設計
- R 7 接続工事・条例改正
切換、供用開始
- R 8 運転調整
- R 9 下殿岡処理場機器類撤去工事
財産処分、処分結果報告

1. 下殿岡の既存管路・区域について

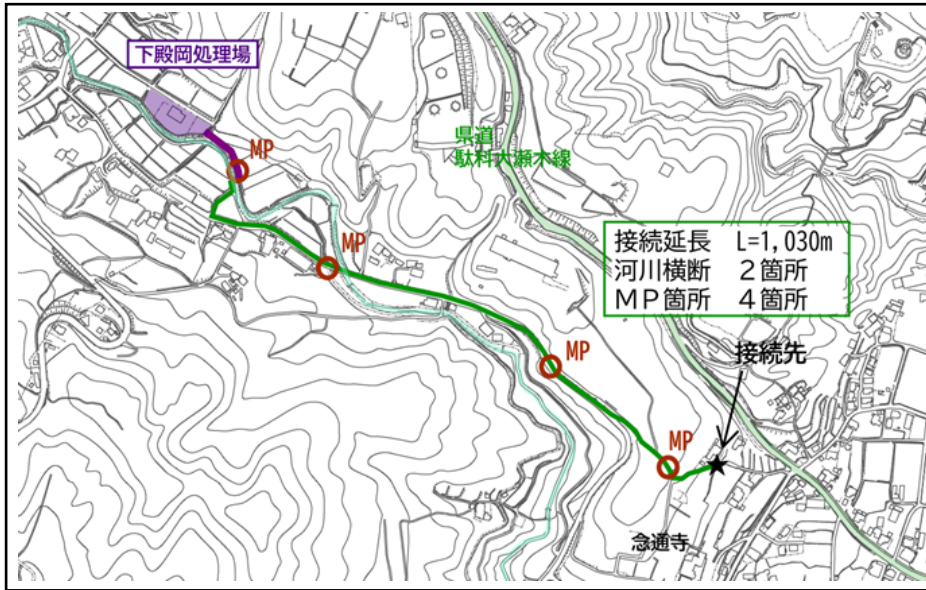
- ・既存農集排管路の流下能力を検証したところ、全体計画区域に対し流下能力を満たす結果が得られた。
- ・新規接続があった場合、事業計画変更(延伸)を行う際に区域及び面積を見直す。

	計画面積 (ha)	下殿岡地区 既設管路の 流下能力	接続先 増補管延長 (m)
全体計画区域	47	○	589
事業計画区域	27	○	366

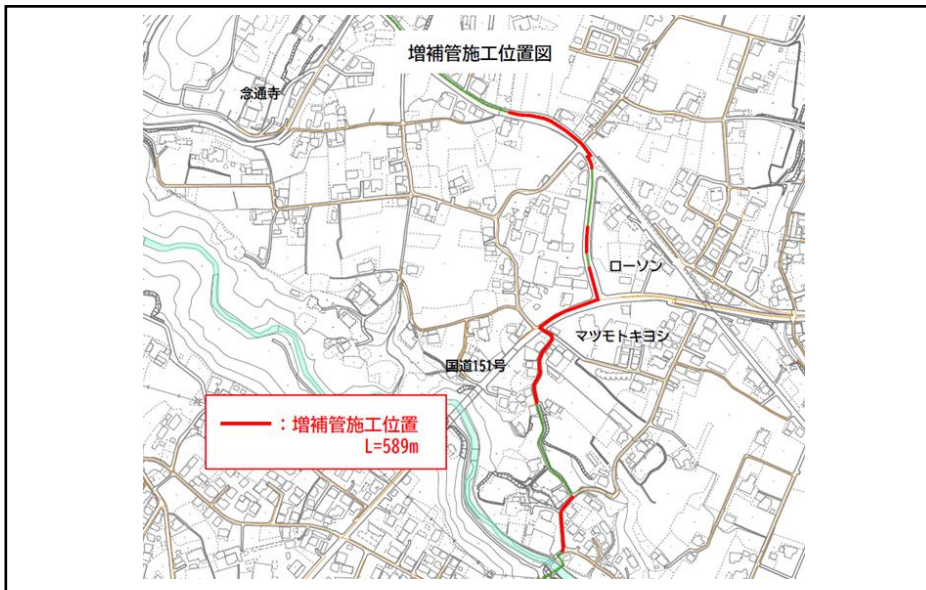


2. 接続経路

- ・接続管延長が最も短く河川横断箇所が少ない下図「念通寺北の峠」ルートとする。



3. 増補管施工位置



4. 費用効果

国土交通省・農林水産省・環境省の3省合同で作成された「持続的な污水处理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル；平成26年1月」に準拠して行う。

検討期間は25年間とした。現在、下殿岡処理場は供用開始から25年目を迎え、機械電気設備の改築を2年後に予定している。更に供用開始から50年目で予定する土木・建築を含む全面改築までを費用効果算出の検討対象とした。

	下殿岡を竜丘へ接続した場合	現処理区を維持した場合	差額 (万円/年)
1年当たり建設費	8,482.4	8,925.2	442.8
1年当たり維持管理費	2,807.9	2,929.1	121.2
計(万円/年)	11,290.3	11,854.3	564.0